

方面委員會
七月二日午前十時より、村

方面助成會總會
七月二日午後一時より役場

滿蒙青少年義勇軍
開拓 青少 少年義勇軍
本村に於て左記三名應募、
首尾よく許可せられ、七月

尋常高等校、
退職 松井浩訓導
渡部書記表彰

又いつもの年ならば、今頃はリックサクを背負ふ學生等が、山に海に群をなす事であらうが、本年は暑休を短縮するとか、労働奉仕をするとか、それ、事務局にふさはしい生活を營んで居る光景や、戦線に立つて奮闘する將兵は勿論、其應召勇士を出した一家の涙ぐましき精進ぶりや、之に對する隣保や市町村民の保護聲援等を見ては、たとへば感激あるのみである。こゝに於て我等は、衷心より深く考へさせられる！改めて云ふ迄もなく、我

内郷村報の

一、政府の指導を仰ぎ、村の発展に努むる。
二、管内公私各機關の活動状況を調査し、併せて其結果を調査し、整理和給努力の實現を期す。
三、本村の社会事業の徹底を期す。

四、村内の慈善事業を奨励し、且之を奨励す。
五、本村の村政の善及本村の福利の増進を期す。
六、貧窮を以て困窮等に苦しむる

本報發行部は内郷の事務に於て、其の活動は子孫に對する遺言を遺すのなり。

本報發行部は内郷の事務に於て、其の活動は子孫に對する遺言を遺すのなり。

内郷村報

天法 人則
ニ從 順ナ
ルベシ

この非常時生活を 斷乎平常化せよ

大内民惠

回顧すれば、世界大戦當時、財界好況時代に於ける我國民生活はさうであつたか。將た關東大震災後に於ける全國民は、東京を中心として、如何なる衝動をうけた事であつたか。前には心身弛緩、札びらをつかへうかと考へ、後には素裸となつて、何を着、何を食ひ、何處に住まはうかと、苦心慘憺した事であつた。次いで財界は不況となり、東京は復興を見るに到り、前者はそれこそ權花一朝の榮、もとの黙阿彌となつて、營々其衣食に追はれ、後者は喉元の熱さはどうの昔にうち忘れ、咲く花の匂ふが如き、奈良の都ごころか、奢侈贅澤、淫風墮俗、全都に侵潤するは勿論、地方農

村などには、巻煙草を口に、革靴を足にし、自轉車を驅つて、田まはりをするといふ、お百姓が現はれるといふ現象を見るに到り、心ある者をして、此現狀を如何にせん、憂慮措く能はざらしめたのである。時しもあれ、蘆溝橋邊、一發の彈丸、上海萬國公路上の頭腦を強打し、聖旨を畏みて、一年、着々歴々全支の陸海空を制覇し、帝國の使命達成に、邁進しつゝある現狀に當面する事となつた。こゝに於て我々は、今更ながら、陛下の赤子として日本國に生をうけたる幸福と、其榮譽とを、衷心より感謝し感激せざるを得ないのである。されど一面、戦局の前途

國際關係の將來を思ふ時に、こゝに我々は、更に一段の緊張と覺悟とを、要する事も亦言を待たないのである。今や我當局は、精神總動員と相待つて、物資總動員を布告し、輸出振興、物資の需給調整、並に物價調整の三大方針を強調、就中鐵鋼、其他の非鐵金屬、石油、石炭、棉花、羊毛、麻皮、草、ゴム、木材、重要化學藥品、パルプ、紙等々重要物資の需給調整については、國內に於ける使用制限を強化すると共に、之等の物資を的確に軍需用、生産力擴充用途に向

住みよいか炭礦

從業員大募集!

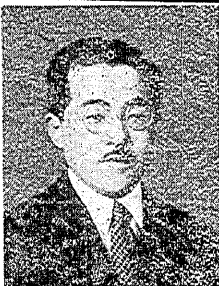
人員 壹千名 (經驗が無くても仕事が出来ます)
年齢 満十六才以上四十五才まで (身体壯健のもの)
賃金 實費會社にて負擔いたします
住宅 一日 二圓以上四圓 (請負制にして就業時間八時間乃至拾時間)
就業場所 獨身者のために寄宿舎あり (食費膳具共一日四十五錢)
希望者は最寄職業紹介所か町村役場又は直接會社に御申込下さい
東北第一の大炭礦!!
磐城炭礦株式會社礦業所
(福島縣石城郡内郷村大字綴)

又いつもの年ならば、今頃はリックサクを背負ふ學生等が、山に海に群をなす事であらうが、本年は暑休を短縮するとか、労働奉仕をするとか、それ、事務局にふさはしい生活を營んで居る光景や、戦線に立つて奮闘する將兵は勿論、其應召勇士を出した一家の涙ぐましき精進ぶりや、之に對する隣保や市町村民の保護聲援等を見ては、たとへば感激あるのみである。こゝに於て我等は、衷心より深く考へさせられる！改めて云ふ迄もなく、我

（一面よりつゞく）
帝國は世界の一大強國であると共に、世界の平和、人類の幸福を招來實現せねばならぬ、大使命を有するの一大指導者の立場にあるのである。而して精神的方面に於ては、獨以兩國の協調同盟はあれども、物質的方面に於ては、正に無援孤立の態勢にあるのである。眞に責任は重大、實に前途は遼遠である。されど我々は、さうあつても、此難關を突破して、我理想實現に、勇往邁進しなければならぬ運命にあるのである。故に我々は、今や我々の喉元にせまつた、此酷熱苦難を、斷じて忘れる事なく深く肝膽に銘記して、奮つて各自の生活を改善し、今日の此生活を平常化して、今後幾年幾十年、此現狀を繼續することも、悠々平然之に對處して、我國策達成の爲に、大に奉仕獻替すべきであると思はれる。

磐炭病院の新築と 正副院長の就任

年來計畫中の磐城炭礦附屬病院は、愈々大字内町の高台に新築する事に決定、七月七日其敷地に於て、それら關係者多數參列、莊嚴なる地鎮祭を舉行し、直



新水博士
院長

福島繁氏、新たに副院長に就任した。

小名濱坑地鎮祭

同坑開坑の爲、七月十五日鹿島村上矢田に於て地鎮祭舉行、田寺探炭部長、上原勞務課長等出席、村内各有志家も之に參列した。

安全週開始施行

磐炭に於ては、商工省礦山局、厚生省勞働局主唱、國民精神總動員中央聯盟協賛、社団法人日本礦山協會財團法人協同會産業福利部同土木建築扶助會主催の下に、安全週開始施行したが、其概要は左の通りであつた。

期間は七月一日より七日間

第一日 検査点検

瓦斯、炭塵、落磐、運搬、發破其他坑内外作業場に於ける危険の有無並通氣施設各種機械等坑内外全般の検査点検、災害防止。

第二日 精神修養

非常時局に處すべき國民精神の訓陶。

第三日 安全祈願

山神社に集合し安全祈願、殉職者並事變戰歿者の慰靈

第四日 清掃整頓

坑内外全般に亘り、清掃整頓、資源愛護、無駄排除、能率向上。

第五日 規律訓練

各種規定の周知、遵守。時問勵行等各般に亘つて訓練

第六日 保健衛生

作業場住宅等の保健衛生施設の清掃点検を實行し、汚物處理の缺陷除去、ラヂオ体操の實施、体育獎勵。

第七日 報國宣誓

山神社に集合、産業報國宣誓をなす。

成田山參拜團

同參拜第三團小島住吉坑長以下四十九名は、六月十九日成田山を參拜し、上京して淺野社長邸柴雲閣、神宮外苑等を觀覽して歸山した

日光參詣

磐炭製作課職工四百余名は、六月十八日一泊がけに日光東照宮に參詣、翌十九日歸山した。

從業員昇給

磐炭に於ける一般常備礦夫職工全部は、七月十一日附を以て、昇給若しくは昇格した。

荒木勞務の受講

七月五日より三日間、文部省社會教育局主催で、仙台市に開かれた、勞務者輔導學級指導員講習會に出席して、其講習を受けた。

磐炭大座談會

磐炭に於ては、最初の試みとして、七月三日淺野翁頌德記念館に於て、全山九寄宿舎（内郷）にある、從業員の座談會を開催、出席者約四百五十名、濱崎副所長、各坑長、勞務課全員之に參加、種々適切有益なる懇談を交はし、晝餐の饗應映畫の觀覽等もあつて、頗る盛會であつた。

慰問狀發送

磐炭御殿入會では、御殿

並宮澤より應召出征の勇士百四名に對して、懇情を込めたる慰問狀に、本社寄贈の本紙を添へて、それら戰地に發送した。
武士も如何に嬉しく受らん
留守のみな心のつくしを
(民惠)

功勞と榮譽

平野諭氏の
常磐石炭礦業會に於て、常磐炭礦を紹介する爲に、東京キネマに依頼して、十



映野平
技士
氏

六ミリ映畫「常磐の炭礦」四巻を製作、縣職業課に寄贈、職業指導映畫として、縣下各地に上映する事となつたが、其原作、監督の任にあつたのは、斯道の天才、磐炭勞務課員平野諭氏で、其功勞を多とせられて居る。又同氏は、本縣及宮城縣に於て、新たに施行せられた映寫技士資格試験を受験したるに、拔群の好成績を以て之に及第した。

◎本紙贊助金寄贈芳名
金壹圓 内郷 某氏
金壹圓 好間 弘中壽人氏

矢野恒太郎 大内民惠著
風俗字之吉

教育制度改革概論

(四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

全村小學校兒童の

東京修學旅行

貯蓄 座談映畫會
獎勵
縣主催の下に、六月二十八日午後一時より第三小學校

一、當日午前を期し村民は一分間黙禱をなすこと。
同時に警鐘を打つこと
出征將兵の武運長久祈

を高裁醫院に、生活供給を大内委員に托し、其の全快を期して居つたが、其甲斐なく終に七月六日逝去した

發行所 日本評論社
東京橋本三丁目

取次所 内郷村報社

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内 民 惠 著
 星野 宇之吉 著
 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

行 請れる現代の教育制度を解體し、
 て、學理と實際と、歴史と實驗とを
 ら新に大内案九主義を提唱す。天下
 知名の士の賛同校案に違わらず。さ
 れど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威者
 前京大總長小西重直博士
 書を寄せて曰く、多年の御懇話に實地
 の御試練ニ基キ眞學實國ノ大精神ヲ拜
 味仕リ不勝感激ニ打テ申上ル云々。

發行所 日本評論社
 東京本橋三丁目
 取次所 内郷村報社

山に命名高き、次席醫學博士
 土水上秀雄氏、與望を負ふ
 て襲任、同時に外科の權威
 其概要は左の通りであつた

以下四十九名は、六月十九
 日成田山を参拜し、上京し
 て淺野社長邸茶雲閣、神宮
 外苑等を觀覽して歸山した

慰問狀發送
 警族御殿婦人會では、御殿

◎本紙贊助金寄贈芳名
 金壹圓 内郷 某
 金壹圓 好問 弘中壽人

全村小學校兒童の

東京修學旅行

内郷尋常小學校報告

當村各小學校の修學旅行隊は、去月二十九日多數の父兄に送られて綴驛を出發、上京の途に就いた。少しく雨は降つてゐたが、よもや豪雨に襲はるゝとは夢想だもせず、一同安心して乗車一行人員八百六十名、原宿驛に下車、一同徒歩、先づ明治神宮を拜する。此の頃より雨は強く降り出す。百二十七台の貸切自動車にて宮城に向ひ、二重橋前にて雨中遙拜。一轉靖國神社に詣でて、遊就館國防館を見學し、ここに雨宿して晝食を濟す。それより上野動物園を見學觀覽。歸途に就くべく上野驛に到れば、出水のため常磐線不通との事。一同驚愕、幹部一同協議の結果、兒童保護上萬全の策を取り、驛前の各旅館に分宿して、休養せしめた。翌日、常磐線は六ヶ所不通東北線また不通と判明、歸校は全然不可能となつたので、更に一泊することにした。但し當日は正午頃より

快晴となつたので、各學校別に兒童を引率して、それ／＼有益なる市内見學を行つた。高坂校にては、地下鐵にて銀座に到り、徒歩其街頭より、東京朝日新聞社東京驛、丸ビル等一帯を見學見物させ、三越より地下鐵で宿に引上ぐ。兒童は之で東京の概觀を把握することが出来たわけである。翌日午前四時五十分の臨時列車にて、上野驛發東北本線郡山經由にて待ちわびたる父兄に迎へられて、無事歸校することが出来た。さて此の旅行は天災のため意外の番狂せを演じたが、兒童に一名の故障、落伍もなく見學をさせるを得た事は、不幸中の幸で、之偏に村當局幹部各位は勿論、學校醫並看護婦諸氏の統督、斡旋其よろしきを得たるに依るもので、感謝に堪えない所である。尙磐炭本社の厚意と、父兄各位の懇情については、我等一同の深謝する次第である。

時蓄座談映畫會

縣主催の下に、六月二十八日午後一時より第三小學校に於て、沼田村長の挨拶、縣より派遣せられた山川農藝課長の講演、大内國民精神總動員實行委員の感話、出席者數氏の談話等あり。引つゞき午後七時より同十時迄講演映畫會を開催、満場の盛會であつた。

時蓄協議會

六月廿五日午前九時より村國稅、宅地租第一期、所得稅第一期、農會費全期の納期限は来る廿五日ですから御忘れなく納めて下さい。

急告

議事堂に於て、各學校長、各大字區長、各納稅組合長等參集、時蓄報國協議會を開催した結果、各村内納稅組合を主とし、國民貯蓄組合を組織する事に決定した。

支那事變一週年記念行事

七月一日午前九時より、在郷軍人分會長、同警族分會長、區長、小學校長、青年團幹部、婦人會幹部集合、左の四項を協議決定して、之が實行にとりかかつた。

代組合の美舉

大字宮字代居住、鳥取縣人栗栖屯(愚才)は全く孤獨にて、病床に呻吟する事數十日、近所の小林兼助氏夫妻の看護を受けつ、あつたが、去月下旬、醫療費並に生活費の出途なく困窮せるを周知した同字組合長松本大、副組合長渡邊久之助、會計山崎貞重の三氏は大いに同情して、方面委員大内民惠氏に之を協議の上醫療

十二年度徴兵検査成績

◇本籍者六月十六日執行。壯丁人員、一二七。甲種合格、五五名。第一乙種、一七名。第二乙種、二七名。丙種、二四名。丁種、四名。◇寄留者六月十八日執行。壯丁人員、一〇三名。甲種合格、四二名。第一乙種、一三名。第二乙種、一六名。丙種、二九名。丁種、三名。◇昨年度甲種合格者七八名に對し、本年度は九七名にて一九名の増加を見た。

吏員異動

在職滿五ヶ年、精勵恪勤の統計勸業係たる渡邊武明書記補は都合に依り退職し、其磐炭勞務係員に就職し、其の後任として、大字御厩より廣井將之氏就職した。

第四回戰捷祈願祭

七月七日午前十時より家政女學校に於て、従前と同じく正面に村内四祭神を齊き祀り、莊嚴なる靈壇を設け、吉田神官奉仕、一村擧げて第四回の戰捷祈願祭を舉行した。出征者家族四十四名村名譽職員村内各種団体、各炭礦代表者等參列し、特に出征者家族諸氏へは御拔及御守を贈呈した。尙當日は支那事變一週年記念祝典を執行した。

無言の凱旋

支那事變に參加、奮闘中名譽の戦死を遂げられた、陸軍野砲兵上等兵後藤莊太郎君。陸軍輜重兵特務上等兵今政治君の遺骨は、沼田村長に擁せられて、七月七日午後〇時五五分綴驛に凱旋又陸軍歩兵伍長齋藤平右工門君の遺骨は、金澤助役に擁せられて、七月十日午後〇時五五分綴驛に凱旋。右兩度共村内名譽職員、各學校長、各種団体長、各學校生徒代表等之を出迎ひ、驛頭にて回向焼香後、出迎人に擁せられて、各自宅に引き取られた。

方面委員會

七月二日午前十時より、村

役場に於て開催、左記の件を協議した。
一、全國方面委員會大會議況報告の件(大内委員)
二、本年度助成會實施事業

昭和拾貳年度 内郷村 助成會收支決算表

収入之部	
一金五百拾八圓七拾六錢	寄附補助金
一金四拾參圓	縣補助金
一金五拾圓	村補助金
一金七圓七拾五錢	製糖機賣却代金
一金四圓七拾五圓四拾五錢	貯蓄金利息
合計金壹千九拾圓九拾六錢	
支出之部	
一金壹百貳拾圓八拾錢	年末救助並一時救助費
一金拾圓	教科書及學用品給與費
一金拾五圓	埋葬費
一金九圓五錢	醫療費
一金拾七圓貳拾錢	養老院諸費
一金拾貳圓貳拾錢	方面委員會出席補助費
一金百八拾貳圓貳拾錢	印刷費
一金六百六拾五圓貳拾壹錢	現金有貯蓄金
合計金壹千九拾圓九拾六錢	

議事堂に於て開催、左記の件を附議滿場一致承認(決算は別項記載)次いで大内副會長より、取扱事項並に全國方面委員會大會議況等の報告あつた。
一、昭和十二年度決算の件

方面助成會總會

七月二日午後一時より役場

本村に於て左記三名應募、首尾よく許可せられ、七月

内郷村報の

六大使命

- 一、政治的進歩を齎して、村の繁栄を促進する。
- 二、村内公私各種団体の活動状況を報導し、併せて其協力を誘ひ、結果和協努力の實現を期す。
- 三、各々社會事業の進展を期す。

- 四、村内の慈善事業を奨励し、且之を獎勵す。
- 五、本村と本村出資者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、貧窮者を以て困窮等々に苦しむる

内郷村報

天法人則 從順ナ

國際關係の將來を思ふ時に、こゝに我々は、更に一段の緊張と覺悟を、要する事、亦言を待たないのである。

十六日白河へ出向、十七日茨城縣下國民高等學校内訓練所へ入り、二ヶ月間の訓練を受けた後、渡滿する事となつた。
高坂御殿 富永正美
宮平太郎 桑原 收
高坂御殿 行越三代次

勇士の美譽

本村大字内町出身上海派遣軍〇〇部隊所屬佐川豊一等兵は、内郷村愛國婦人分會へ俸給の中より金五圓寄附した。

拳銃献納

佐藤三平、四家又一、萩勝雄、加藤ケイの四氏は、從來所持した拳銃を、御厩駐在所を経て其筋に献納した。

國防献金其他

〔國防献金〕
十圓 白水 大越ツヤ子
(出動軍人家族扶助金)
十九圓四〇錢
宮崎炭礦従業員
代表 山崎勝三

教員異動

六月中教員異動左の如し。
尋常高等校、
退職 松井浩訓導

渡部書記表彰

本村役場書記渡部惣江氏は多年勤続、職務に精勵したる功勞を認められ、七月十日石城郡町村長支會より名譽ある表彰を受けた。

朝夢は正夢

田口淳三
我が納稅組合の六月の集金當番は草野泰一君であつた。定日は月の二十日、丁度其日は農家に於て田の植立日で、猪の手までも借りたい程忙はしい日であつた。余は此日の午前一時頃「草野君の妻君が余の外出姿を見るや集金袋を提げ駆足で余を追駈けて来た夢を見た」其の朝四時半に起床するや、入口に訪ふ人がある。見れば草野君の愛嬌で、集金を納付に來たのである。驚いたのは余りに早や過ぎるからである。思ふに時季が時

高坂 電話二十四番

季であるから、草野君が一時立替られたこと、察せられる。朝夢は正夢と云ふが、責任感に當る同君の靈感が余に通じたのが、此夢となつたであらうか? 「一を頼めば二を仕上げ三を頼めば五を仕送ける、何をやらせても立派にやり通す、仕事に真心を打込む人、魂の這入つた人がほしい」とは横山正一氏の言であるが、組合員の一人がこんな心掛であつたら、一事が萬事、何事によらず必ずや美果を收むであらう。サテハ不思議な夢、面白い夢であつた!!

けしめるべき、配給の統制を一段と強化することとなり、全國民はそれこそ、衣食住全般に涉つて徹底的檢討

又いつもの年ならば、今頃はリックサックを背負ふ學生等が、山に海に群をなす事であらうが、本年は暑